

かえるちゃん通信



イメージキャラクター
かえるちゃん



産育休中のみなさんお元気でお過ごしですか？
しばらく職場から離れているみなさんにとっては、新しい職場環境に復帰するにあたり、不安や戸惑いの気持ちをお持ちのことと思います。
このかえるちゃん通信を通して、そういうみなさんに、病院からの情報等を定期的にお届けします。今回は復帰した先輩からのメッセージをお届けします。

看護部news

平成28年度4月1日付けで、
谷眞澄看護部長が副院長兼看護部長に昇任されました。
副院長として、これまで以上に病院全体の運営に携わる立場になりました。看護部門として誇らしいですね。



かえるちゃんのネーミングの由来は、安心して職場に帰る(かえる)ことができるように...という思いが込められています。

先輩からのメッセージ(アンケートにご協力いただきました)

復帰する前の心境：

働いたことのない病棟でしたので、とても不安でした。

復帰する前の準備した工夫：

経験のない診療科の病棟だったので、疾患と看護についての本を読みました。



家族の橋梁体制：

主人が子供たちのお迎えなどを助けてくれています。

復帰してから「感謝!」と思ったこと：

主人の家事への協力です

これから復帰する方へのメッセージ：

家庭と仕事の両立は大変ですが、お互い頑張りましょう

昨年12月復帰のNYさん



復帰する前の心境：

ずっと子供と一緒にいたので、離れるのが一番寂しかったです。夫の稼ぎが良ければ育休がもう少し長く取れるのに...と思いました。

復帰する前に準備した工夫：

次の病棟はどういうところなのか、何を勉強したらいいのか、人に聞いて、事前に自己学習しました。



4月復帰のNHさん

やっておいてよかったこと：自己学習 You tubeで学習

復帰したから「感謝!」と思ったこと：

新しい病棟の患者さんはこれまでと違いかなり重症ですが、スタッフがやさしくて、親切で、気にかけてくれることがとてもうれしいです。

これから復帰する方へのメッセージ：

復帰してからは今までできていたことができず、とまどいましたが、新たに1から学びなおすことで(教えてもらうことで)新しい技術、知識を得ることができましたので、これまでの自分の看護の振り返りができました

シリーズ部署紹介(3G病棟)

3G病棟は、呼吸器内科、腎臓内科を中心とした混合病棟です。

1・2類感染症病床を有しており、スタッフはエボラ出血熱患者搬送訓練も行っています。その様子が新聞やTVに取り上げられました。

肺がんや感染症の勉強会にも力を入れ、対象が安心して在宅で生活できるように、個別性のある退院指導に取り組んでいます。



※訓練参考画像

3G病棟から休んでいる方へのメッセージ

3G病棟にいる育児休暇明け復帰者の皆さんも、院内保育所に子供を預けて毎日頑張っています。時々子供の急な病気で、保育所から呼び出しがありますが、まわりのスタッフは快く送り出していますよ。

『安心してください!』

患者や家族とのほっこり場面

3G病棟では、酸素が離せない患者さんが多く入院しています。

そのような患者さんには移動用酸素カートを活用してもらっています。

従来の携帯用酸素ポンベに比べて、安定した状態で移動できることから、患者さんの移動範囲が広がりました。

院内各所へ気軽に移動できるようになった患者さんからスタッフへ、「ちょっと売店に行ってきたよ」と嬉しそうな笑顔で報告がありました。



※許可を得て掲載しています